

子どもたちを世界に羽ばたく人材に!!
ともに大学院で学びましょう。

グローバル化 推進教育 リーダーコース

グローバル化が急速に進む中、学校においては文化や言語の異なる児童・生徒が同じ教室で一緒に勉強をしています。その変化に対応できる力を養い、グローバル教育の要素を取り入れた教科教育の方法を開発するなど、実践に役立つ勉強・研究をしてみませんか。

**これからの学校には
グローバル化に対応できる先生が必要です!**

■ 特色ある授業科目 ■

- <世界の教育> 各国・地域の教育関係者・研究者が講義
- <国際理解教育> 専任教員・関係分野の専門家による多彩な内容の授業設定
- <海外フィールドワーク> 現地の学校訪問・授業視察・聞き取り調査

働きながら学べます

フレックスクラスでは遠隔地の方もオンラインで受講可能

科目区分	授業科目の領域	単位数
共通基礎科目	教員、教育専門職として必要な基礎的領域	10～
専門科目	グローバル基礎領域	6
	グローバル授業実践領域	4
	グローバル・フィールドワーク領域	4
	グローバル教育実践課題領域	4
実習科目		10
合計		46

グローバル基礎領域	◆国際理解教育I(基礎) ◆国際理解教育II(応用と実践) ◆世界の教育
グローバル授業実践領域	◆実用外国語演習 ◆外国語による表現法 ◆英語を活用した論理的思考
グローバル・フィールドワーク領域	◆グローバル・フィールドワークI(海外) ◆グローバル・フィールドワークII(国内)
グローバル教育実践課題領域	◆グローバル教育実践課題研究

実習科目	グローバル教育実践	◆学校教育基盤実習 ◆グローバル教育実践実習 ◆グローバル教育開発実習
------	-----------	-------------------------------------

共通基礎科目

- ◆授業におけるICT活用
- ◆特色あるカリキュラムづくりの理論と実際
- ◆実践的な指導方法に関する理論と実際
- ◆授業における評価の基準作成理論と学力評価法
- ◆包括的児童生徒支援に関する事例研究
- ◆学校における道德教育の実践研究
- ◆児童生徒を活かす学級経営の実践演習
- ◆学校における特別支援教育への対応と方法 他

専門科目(他コース)

- ◆外国人児童生徒の指導と多文化共生教育
- ◆総合学習の理論構築と実践力形成
- ◆第二言語習得と外国語学習 他

これまでの「教育実践研究報告書」のテーマ

- ◆小学校におけるグローバル化教育の一方策ー学校経営の視点から実践例の提示ー
- ◆高等学校共通教科「理数」における授業デザインルーブリックの開発についてー諸外国の教育実践にみるグローバル時代で求められる力とその育成を通してー
- ◆沖縄県立高校における地域協働型探究学習のフレームワークの構築ー「高校魅力化」の事例を手掛かりとした実践と検証ー
- ◆小学校外国語におけるグローバル化教育の展開ーグローバルイシューを組み込んだレessonプランの提示ー
- ◆高校生を対象とした短時間のグローバル教育実践の意義
- ◆日本人学校における特別支援学級の開設とその運営状況
- ◆公立中学校国語科における国際教育の開発及び実践：グローバル・コンピテンスの育成に向けて

Q & A

Q1. 英語力が必要ですか？

- A. 英語の能力は問いません。入学後、「実用外国語演習」等の授業において、学生のレベルに応じた英語指導を行います。

Q2. 英語の教員対象ですか？

- A. 教科・校種は問いません。国際教育やグローバル教育に携わりたいと考えるすべての先生方、事務職の方、学部卒業後さらに深い研究・実践を追求する方等が対象です。

Q3. どのように学びますか？

- A. 講義・演習などの座学とフィールドワーク・実習を通して、理論と実践の融合を目指します。専任教員に加えて、当該分野の専門家・実践者を講師として招き、最新かつ高度な専門知識・実践力が身に付く多彩な授業科目が設定されています。対面授業に加えて、オンラインで受講する科目もあります。

Q4. どのような資格が取得可能ですか？

- A. 教職大学院修了者には、専門職学位「教職修士(専門職)」が授与されます。また、専修免許状が取得できるよう、授業科目を開設しています。

Q5. 海外留学できますか？

- A. 授業の一環で海外フィールドワークを実施します(「グローバル・フィールドワークI(海外)」)。対象国・地域の小・中・高校を視察したり、教育機関を訪問し聞き取り調査を行ったりします。他に長・短期の留学も可能です。

Q6. 博士課程に進むことはできますか？

- A. よりアカデミックな研究手法や研究成果発表のスキル等、研究に関する基盤的な力量を形成し、博士課程に進むための準備ができるよう「研究力向上特別プログラム」が設置されています。

グローバル活動の様子



▲「国際理解教育I(基礎)」(令和6年度)



▲「実用外国語演習」(令和6年度)



▲「グローバル・フィールドワークI(海外)」
カンボジア視察(令和6年度実施予定)

■入学者選抜関係日程: 〔8月選抜〕出願期間:令和6年 7月 3日(水)～令和6年 7月10日(水)【必着】
〔11月選抜〕出願期間:令和6年10月 2日(水)～令和6年10月 9日(水)【必着】
〔3月選抜〕出願期間:令和7年 1月15日(水)～令和7年 1月20日(月)【必着】

試験日:令和6年 8月18日(日)
試験日:令和6年11月16日(土)
試験日:令和7年 3月 1日(土)